

# フォローアップ作業シート

(青森市教育振興基本計画・青森市スポーツ振興計画)

1 施策名

基本方向1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
【主な取組1】	スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供
【主な取組2】	総合型地域スポーツクラブ等の情報提供
【主な取組3】	子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進
【主な取組4】	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進
【主な取組5】	障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進
【主な取組6】	指導者の確保・活用
【主な取組7】	地域スポーツの促進
【主な取組8】	既存スポーツ施設の利便性の向上
【主な取組9】	ハイレベルな競技の観戦機会の提供

3 施策の概要（計画の抜粋）

ライフステージに応じて市民の皆さん誰もがスポーツ・レクリエーション活動に取り組める環境づくりを多角的に進めるとともに、地域の身近な学校体育施設や市民センターの体育館等を含めたスポーツ・レクリエーション活動が可能な施設全般に関する積極的な情報提供により、スポーツ・レクリエーション活動に取り組める場の利便性の向上に努めます。

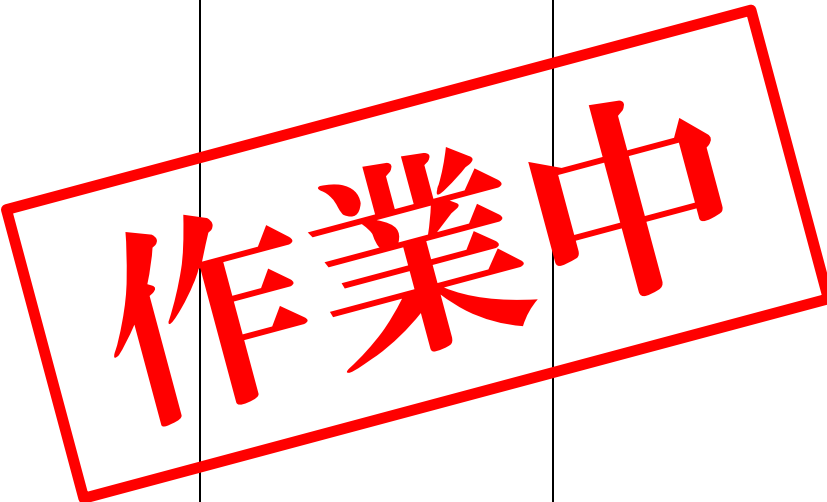
2 現状と課題（計画の抜粋）

・市民ニーズを反映した各種教室やイベントの開催や各種団体が実施するスポーツ大会やイベントなどの開催促進、誰でも気軽に取り組める運動の普及啓発やハイキングなどの野外活動の普及奨励に取り組んでいく必要があります。  
 ・総合型地域スポーツクラブをはじめ様々な活動機会を提供するスポーツ・レクリエーション団体に参加しやすい環境づくりを進めていく必要があります。  
 ・子どもや高齢者、障害者がスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会を拡充するとともに地域の方々が主体的にスポーツに参画する環境づくりに取り組む必要があります。  
 ・指導者の確保、資質向上及びスポーツ推進委員の認知度の向上を図る必要があります。  
 ・スポーツ施設の適正な保守管理と施設の空き状況やイベント情報など一層の情報提供に取り組む必要があります。  
 ・高い競技水準の大会開催誘致に取り組み、観戦できる機会の充実を図ります。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
①成人の週1回以上のスポーツ実施率	32.4 %	35.5 %	35.9 %	34.8 %	*** %	*** %	98.0 %
【指標の説明】 週1回以上運動・スポーツを行っている市民（成人）の割合（市民意識調査）							
②スポーツ・レクリエーションに対する満足度	17.8 %	26.9 %	15.3 %	14.8 %	*** %	*** %	55.0 %
【指標の説明】 スポーツ・レクリエーションを楽しむための機会や施設の充実に関する満足度（市民意識調査）							
③スポーツ施設利用者数	992,976 人	1,044,623 人	1,077,242 人	920,963 人	*** 人	*** 人	88.2 %
【指標の説明】 本市所有のスポーツ施設の年間利用者数							
④障害者のスポーツ施設利用者数	5,808 人	6,888 人	5,758 人	6,732 人	*** 人	*** 人	97.7 %
【指標の説明】 文化スポーツ振興課所管施設及びモヤヒルズにおける1年間の障害者利用者数							
⑤スポーツ推進委員の一人当たり年間平均活動回数	61.0 回	66.0 回	59.7 回	62.1 回	*** 回	*** 回	94.1 %
【指標の説明】 スポーツ推進委員の一人当たり年間平均活動回数							

施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化	
スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供	スポーツ施設の指定管理者による、よりニーズを反映したスポーツに関する各種教室・イベント等の開催や、スポーツ活動に取り組む団体が実施する各種教室やイベント等の開催促進、ウォーキングやニュースポーツなど日常生活の中で気軽に楽しめる運動、更にはハイキングやサイクリングなどの野外活動の普及啓発など、スポーツ施設の指定管理者をはじめとした関係団体と連携を図りながら、市民の皆さんのスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の提供に取り組みます。	<b>【生涯スポーツ・レクリエーション支援事業】</b> ・AOMORI マラソン開催支援業務 AOMORI マラソンの開催を支援しました。 ■参加者数 H25：2,986人 H26：2,607人  <b>【青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（スポーツ事業）】</b> ・運動指導者派遣サービス 地域や企業、学校等に指導員を派遣し、健康や各種スポーツに関する専門的な指導、情報提供を行いました。 ■派遣回数 H25：6件 H26：7件 ・ニュースポーツ普及促進事業 スポーツ・レクリエーションに広く親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を図るため、子供から高齢者まで簡単に楽しめるニュースポーツの用具を市民に貸し出しました。 ■用具貸出件数 H25：0件（H25に用具購入・周知） H26：29件 ・合浦海水浴場運営管理事業 夏季間のスポーツ・レクリエーション活動推進のため、小中学校の夏休み期間中に海水浴場を開設しました。 ■利用者数 H25：10,377人 H26：6,789人				<b>【意見等】</b> ・短命県返上のための取組みが必要。		<b>【今後踏まえるべき環境変化】</b> ・東北総合体育大会の青森県開催（平成28年） ・東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年） ・国民体育大会の青森県開催（平成37年）



施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化
総合型地域スポーツクラブ等の情報提供	市民の皆さんに様々なスポーツ・レクリエーションの活動機会を提供する、「総合型地域スポーツクラブ」をはじめとしたスポーツ・レクリエーション団体に関する会員や活動内容等の情報を、市の広報媒体などを活用して積極的にPRするなど、市民の皆さんのスポーツ・レクリエーション活動参加への「きっかけづくり」に取り組みます。	【青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（スポーツ事業）】 スポーツレクリエーション活動を促進させるため、既存スポーツ施設の有効活用を目的とした情報提供をはじめ、市民に様々な活動機会を提供する各種団体の情報提供、更には日常生活の中で気軽に取り組める運動の普及啓発などを目的とした情報誌を発行しました。 ■発行回数 H25：6回（1,800部/回） H26：6回（1,800部/回） ■配布場所 スポーツ施設、小中学校 外					
子どものスポーツ・レクリエーション活動の促進	幼児や小・中学生を対象とした各種スポーツ教室の開催をはじめ、単独校でスポーツ少年団が設置できない場合における複数の小学校区を対象としたスポーツ少年団の設置に向けた調整、学校を通じた地域の実情把握に基づく教員以外の地域のスポーツ指導者の発掘・育成、放課後子ども教室などの放課後活動におけるスポーツ推進委員の活用など、子どもの発達段階に応じて、身体を動かすことやスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに取り組みます。	【青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（スポーツ事業）】 ・青森市スポーツ少年団本部活動事業 子どものスポーツ活動の推進を図るため、青森市スポーツ少年団の各種競技会に対し補助金を交付しました。 ■補助金交付件数 H25：4件 H26：4件 ・青森市カブ・バンビ卓球大会開催事業 スポーツ活動振興基金の運用事業の一環として、低年齢層から卓球の基本を正確に習得させ、技術の向上に資することを目的に実施しました。 ■大会参加者数 H25：99人 H26：130人 【スポーツ推進委員設置事業】 「指導者の確保・活用」に同じ 【スポーツ振興施設運営管理事業（スポーツ振興事業）】 青森市民体育祭、小学生野球教室等を開催しま			【意見等】 ・小さいうちからスポーツをやらせる機会を提供する仕組みを考える必要がある。学校だけでなく、地域と連携できる具体的な支援策を考えていくべき。		
高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の促進	高齢者を対象とした各種スポーツ教室の開催をはじめ、高齢者団体に対する後援等を通じた各種スポーツ大会やイベントの開催促進、ウォーキングやニュースポーツなど日常生活の中で気軽に取り組める運動の普及啓発など、関係団体と連携しながら高齢者が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに取り組みます。	【スポーツ振興施設運営管理事業（スポーツ振興事業）】 青森市民体育祭、マスターズ水泳記録会 内容照会中					
障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進	障害者を対象とした各種スポーツ教室の開催をはじめ、ソフト面でのサポート体制充実による障害者が利用しやすい施設環境づくり、障害者団体に対する後援等を通じた各種スポーツ大会やイベントの開催促進、障害者スポーツ指導員の積極的な活用方策の検討など、関係団体と連携しながら障害の有無にかかわらずスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに取り組みます。	【スポーツ振興施設運営管理事業（スポーツ振興事業）】 身体・知的障害者水泳教室 内容照会中					
指導者の確保・活用	スポーツ推進委員の周知・PR及び派遣システムの構築により、市民の皆さんの一層の活用促進を図るとともに、関係団体等に対する指導者研修会等の情報提供及び参加促進により、新たな指導者の発掘・育成やスポーツ推進委員を含めたスポーツ指導者全体の資質向上に引き続き取り組みます。	【スポーツ推進委員設置事業】 スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに指導、助言を行うスポーツ推進委員を設置し、スポーツの振興・普及を図りました。 平成25年度からは、市民スポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員を派遣しました。（設置人数：40名、指導種目：33種） ■実働回数 H25 2,483回 H26 ●回			【意見等】 ・スポーツ推進委員については、数にこだわらず、専念できる人や顔の広い方、そういう方を選抜して進めるべき。 ・地域からもスポーツ推進委員を発掘していく必要がある。		
地域スポーツの促進	地域で開催する各種教室やイベントでの実技指導など、最も身近な町会等を活動単位にスポーツ推進委員等を活用することなどを通じて、地域の方々が主体的にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに取り組みます。						

施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化
既存スポーツ施設の 利便性の向上	老朽化が進んでいる市のスポーツ施設について、施設の指定管理者と連携した保守管理にこれまで以上に細心の注意を払うとともに、市の関係部局が毎年実施する定期建築物診断に基づき必要に応じて適切な修繕を行うなど、市民の皆さんが安心してスポーツ・レクリエーション活動に取り組める場としての機能維持に努めるほか、地域の身近な学校体育施設や市民センター体育館、市民ニーズが高いウォーキング・ジョギングに対応可能な施設など、スポーツ・レクリエーション活動に取り組める施設全般に関する空き情報や各施設で実施する各種教室・イベント情報を積極的に提供するなど、利便性の向上に取り組みます。	【スポーツ施設機能整備事業（地域の元気臨時交付金）】 市民体育館等の老朽化した施設機能等の整備を行いました。（H26終了） 【森の広場改修事業】 森の広場内調整池付近の水路の底が深く危険であるため、フェンスを設置しました。（H25終了）					
ハイレベルな競技の 観戦機会の提供	プロバスケットボールリーグの地元開催をはじめ、国民体育大会（夏季大会）誘致に向けた県への働きかけなど、高い競技水準の大会の開催誘致に取り組み、市民の皆さんが高い競技水準のスポーツを観戦できる機会の充実を図ります。	【青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（スポーツ事業）】 スポーツレクリエーション活動を促進させるため、既存スポーツ施設の有効活用を目的とした情報提供をはじめ、市民に様々な活動機会を提供する各種団体の情報提供、更には日常生活の中で気軽に取り組める運動の普及啓発などを目的とした情報誌を発行しました。  ■発行回数 H25：6回（1,800部/回） H26：6回（1,800部/回）  ■配布場所 スポーツ施設、小中学校 外					

1 施策名

基本方向2	学校体育活動の充実
【主な取組1】	指導体制の充実
【主な取組2】	安全・安心確保

3 施策の概要（計画の抜粋）

教員の資質向上や関係団体等との連携により、学校体育活動における指導体制の充実に取り組むとともに、安全・安心に学校体育活動に取り組める環境づくりを進めます。

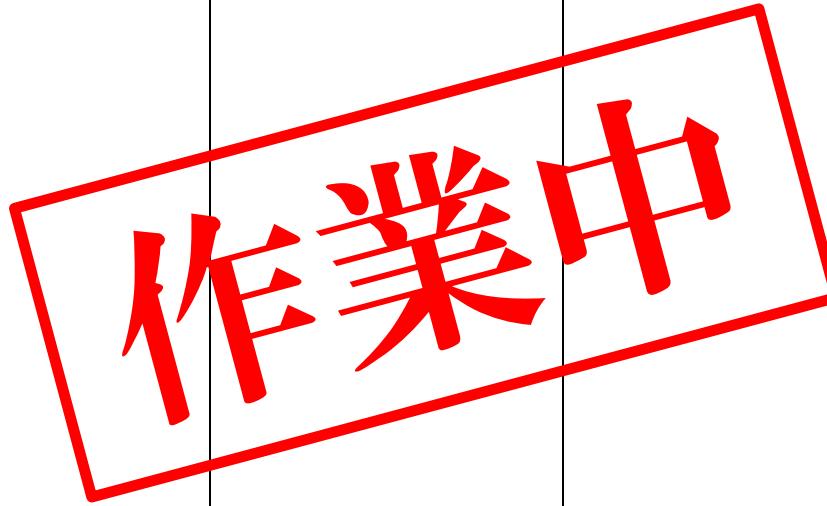
2 現状と課題（計画の抜粋）

市では、教育活動の充実を図る取り組みの一環として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成するため、自ら進んで運動に親しみ、体力の向上やより良い生活を営むための健康・安全指導を充実させるため、学校体育活動において、各種研修会をはじめとした教員の指導力や資質の向上を図る取り組みを進めています。  
また、平成24年度から中学校において必修化された武道や、小・中学校の部活動等において、安全かつ円滑に活動できるよう、関係団体等と連携した実技指導における外部指導者の活用にも取り組んでいます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
①体力テストの体力合計点（小学5年生）	男 55.2 点	男 55.45 点	男 53.89 点	男 53.79 点	*** 点	*** 点	97.0 %
	女 56.0 点	女 56.25 点	女 55.87 点	女 55.13 点	*** 点	*** 点	98.0 %
【指標の説明】8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点							
②体力テストの体力合計点（中学2年生）	男 42.2 点	男 42.45 点	男 41.46 点	男 42.32 点	*** 点	*** 点	99.7 %
	女 44.9 点	女 46.90 点	女 49.15 点	女 46.65 点	*** 点	*** 点	99.5 %
【指標の説明】8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点							

施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化
指導体制の充実	教員の専門性を高めるための研修や、自校の課題解決のための組織的な校内研修の日常化などを通じて、教員の指導力や資質の向上を図るとともに、体育・保健体育の授業以外に、子どもたちが運動遊びやスポーツをしたり、積極的に体を動かす習慣を身に付けたりするための取り組みの充実を図ります。また、スポーツ団体等と連携した、部活動を含む学校体育活動全般における外部指導者の活用を進め、学校体育活動の活性化を図ります。	【実践指導事例集作成事業】指導課 【学校教育指導方針推進事業】指導課 【学校訪問教育指導事業】指導課 【教職員研修事業】指導課					指導課作成
安全・安心確保	スポーツドクターとの連携による、スポーツ医・科学を活用したスポーツ事故やスポーツ障害防止等に関する知識の普及啓発により、安全・安心に学校体育活動に取り組める環境づくりを進めます。	【スポーツ医科学講座開催事業】 スポーツ事故やスポーツ傷害の防止等を目的に、学校教員をはじめとした小・中学生のスポーツ指導者等を対象に、スポーツ医科学講座を開催しました。  ■参加者数 H25：40人 H26：36人			【意見等】 ・スポーツ医科学講座をシニア世代も受講できるようにすべき。		調整中



1 施策名

基本方向3	ウィンタースポーツの推進
【主な取組1】	「カーリングの街・青森」の推進
【主な取組2】	その他ウィンタースポーツの促進

3 施策の概要（計画の抜粋）

多様な施設環境や多雪寒冷である本市の気候特性を活かし、全国的にも注目を集めているカーリングをはじめ、スキー、スノーボード、スケートなど、ウィンタースポーツ全般に気軽に楽しめる機会の充実及び競技水準の向上に取り組めます。

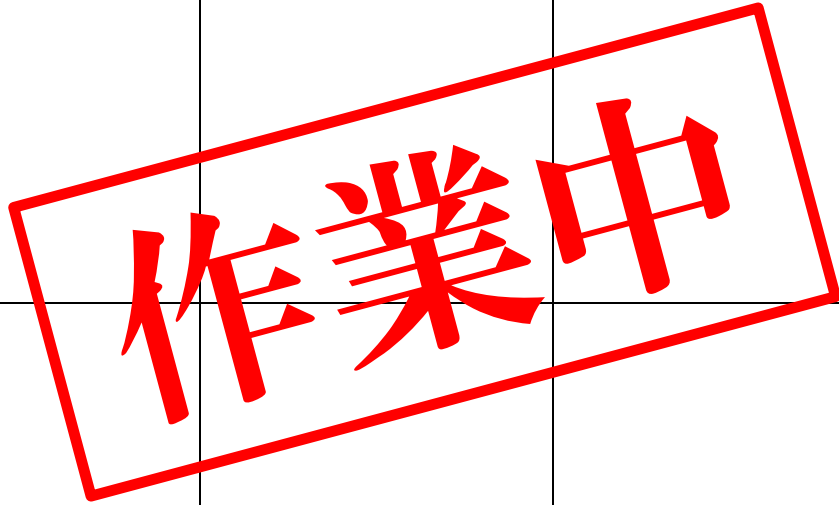
2 現状と課題（計画の抜粋）

近年では他の自治体で通年利用が可能なカーリング場が整備された一方、本市では未だ10月から4月までの利用環境となっており、また、全国的な競技水準も向上するなど、本市のカーリング環境は相対的に厳しさを増しており、「カーリングの街・青森」の実現に向けた取り組みを強化していく必要があります。  
また、ここ数年、市のウィンタースポーツ施設の利用者数やウィンタースポーツイベントの参加者数が減少しており、だれでも気軽にウィンタースポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいく必要があります。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
①ウィンタースポーツ施設利用者数	106,449 人	116,467 人	103,503 人	107,313 人	*** 人	*** 人	92.1 %
【指標の説明】本市所有のウィンタースポーツ施設の年間利用者数							
②ウィンタースポーツに対する満足度	20.8 %	26.8 %	22.0 %	22.2 %	*** %	*** %	82.8 %
【指標の説明】ウィンタースポーツに親しむことができる機会や環境に対する満足度（市民意識調査）							
③ウィンタースポーツイベント参加者数	777 人	937 人	739 人	735 人	*** 人	*** 人	78.4 %
【指標の説明】本市所有のウィンタースポーツ施設の年間利用者数							

施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化
「カーリングの街・青森」の推進	全国高等学校カーリング選手権大会や市内の小・中学生カーリングチャレンジカップの開催により引き続き若手選手の競技力向上及びカーリング人口の裾野拡大を図ります。また、全国規模の大会誘致やスポーツ会館カーリング場の利用期間拡大に向けた検討、更には競技団体との連携による国際競技大会で活躍できる選手及びチームの輩出を目指した競技水準の向上など、様々な角度からカーリング振興に努め、「カーリングの街・青森」が全国的に認知され、観光、教育、地域活性化などまちづくりにおいてカーリングが積極的に活用されるよう取り組みます。	<p>【全国高等学校カーリング選手権大会開催事業】</p> <p>カーリングの振興を図るため、全国高等学校カーリング選手権大会を開催しました。</p> <p>■開催実績</p> <p>H25 男子の部(5チーム/22名) 北海道選抜、北海道南富良野高等学校、青森選抜、長野選抜、青森・長野合同</p> <p>女子の部(5チーム/21名) 北海道選抜、北見藤女子高等学校、青森明の星高等学校、関東中部選抜、青森選抜</p> <p>H26 男子の部(5チーム/28名) 北海道選抜A、北海道選抜B、青森選抜、長野県選抜、青森高等学校</p> <p>女子の部(5チーム/32名) 常呂高等学校、北見藤女子高等学校、青森選抜、関東中部選抜、青森明の星高等学校</p>					【今後踏まえるべき環境変化】 ・韓国平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック・パラリンピックの開催（平成30年）
その他ウィンタースポーツの促進	冬期間における運動不足を解消し、活発にスポーツ活動に取り組んでいただけるよう、既存のウィンタースポーツ施設の適正な保守管理及び積極的な情報提供に努めるとともに、「歩くスキーの集い」をはじめとした各種教室や気軽に参加できるイベントの開催、小学校の校庭を活用したスキースロープの設置助成、更にはウィンタースポーツ活動に取り組む団体に対する後援等を通じて各種教室やイベントの開催促進など、ウィンタースポーツに取り組みやすい環境づくりに取り組みます。	<p>【スキースロープ設置助成事業】</p> <p>校庭にスキースロープを設置する小学校に、設置費用の一部（20,000円）を助成しました。</p> <p>■助成実績</p> <p>H25：25校 H26：27校</p> <p>【青森市文化スポーツ振興公社助成事業（補助金）（スポーツ事業）】</p> <p>公社が実施する各種スポーツ事業の事業費等を助成しました。</p> <p>・生涯スポーツ・レクリエーション普及事業 冬期間の運動不足を解消し、体力向上を図るため「歩くスキーの集い」を開催しました。</p> <p>・氷上スポーツ・レクリエーション祭開催事業 冬期間の運動不足を解消し、ウィンタースポーツの振興を図るため、小学生を対象に氷上で行う各種レクリエーションやゲームに親しむ機会を提供しました。</p>					





1 施策名

基本方向4	競技水準の向上
【主な取組1】	ジュニア層の育成強化
【主な取組2】	各種競技会への参加支援
【主な取組3】	競技団体との連携促進
【主な取組4】	優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰

2 現状と課題（計画の抜粋）

ジュニア層の育成強化が、競技力の向上に重要な役割を果たすことから、これまでの小・中学生を対象としたスポーツ大会の開催支援などに加え、競技団体とも連携しながら優秀な選手及び指導者を発掘・育成するための対策に取り組む必要があります。  
 高い競技レベルを実感することは、競技意欲の向上に大いに資することから、本市を代表して全国大会などに出場する選手に対する参加促進に継続して取り組む必要があります。

3 施策の概要（計画の抜粋）

市民の皆さんのスポーツへの関心・意欲を高めるとともに、意欲ある優秀な選手や指導者の発掘・育成に努めるなど、競技団体とも連携しながら競技水準の向上に取り組めます。

4 基本施策の目標とする指標と取組状況

指標名	基準値 (H23)	目標値 (H27)	実績値				現時点での達成率
			H24	H25	H26	H27	
①スポーツ賞及びスポーツ奨励賞受賞者数	— 人	195 人	141 人	151 人	*** 人	*** 人	77.4 %
【指標の説明】本市の表彰制度である「スポーツ賞」及び「スポーツ奨励賞」の受賞者数							
②国民体育大会に出場した市民の人数	103 人	120 人	83 人	102 人	*** 人	*** 人	85.0 %
【指標の説明】国民体育大会に出場した市民の人数							
③中学生の東北・全国大会派遣者数	240 人	254 人	227 人	322 人	*** 人	*** 人	126.8 %
【指標の説明】青森県中学生体育大会を通じて東北・全国大会に出場した中学生の人数							

施策の内容	施策の内容	施策を構成する主な事業の実施状況	事業を実施する上での課題	施策の成果	施策の課題	今後の方向性	施策に関連する課題と環境変化
ジュニア層の育成強化	これまでの小・中学生を対象としたスポーツ大会の開催支援などに加え、トップレベルの選手又は指導者による講習会や実技指導などの開催や、競技団体との連携のもと、各種大会等において優秀な選手を発掘し、適切な指導により育成できる体制づくりについて検討を行うなど、ジュニア層の強化に取り組めます。	【スポーツ推進委員設置事業】 スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに指導、助言を行うスポーツ推進委員を設置し、スポーツの振興・普及を図りました。 平成25年度からは、市民スポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員を派遣しました。 (設置人数：40名、指導種目：33種) ■実働回数 H25 2,483回 H26 ●回			【意見等】 ・メダリストを輩出するくらいの意気込みで取組む必要がある。 ・過去の大会の成績が上位になった高校を指定して集中的に対外試合をさせるなど、限られた予算を有効に活用するために発想の転換が必要。 ・国体を目標にして、中学生くらいからのレベルアップの取組が必要。 ・指導者が足りず、子どもたちの競技力を上げることに支障がある。		【今後踏まえるべき環境変化】 ・東北総合体育大会の青森県開催（平成28年） ・東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年） ・国民体育大会の青森県開催（平成37年）
各種競技会への参加支援	高等学校全国大会や青森県民体育大会、国民体育大会など本市を代表して各種競技会へ出場する選手等に対する支援に、引き続き取り組めます。	【中学校体育大会選手派遣事業（補助金）】 東北・全国中学校体育大会へ選手を派遣する青森市中学校体育連盟に対して補助金を交付しました。 ■交付団体数 H25：1団体 H26：●団体 【高等学校全国大会選手派遣事業（補助金）】 全国高等学校野球選手権大会等に出場する学校・運動部に対して、補助金を交付しました。 ■交付団体数 H25：3団体 H26：●団体					
競技団体との連携促進	競技力の向上に主体的な役割を担う財団法人青森市体育協会加盟団体に対し、競技力強化及び協会の運営に必要な支援を行い、当該団体の活動促進に引き続き取り組むとともに、高いレベルの指導者研修会等の積極的な情報提供等を通じて研修会等への参加を促進させ、高度な専門技術を有する意欲ある優秀な指導者の発掘・育成に取り組めます。	【青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業（補助金）】 (財)青森市体育協会が行う市町村対抗青森県民体育大会選手権事業等に対して補助金を交付しました。 ■交付団体数 H25：1団体 H26：●団体 【青森県スポーツ推進委員協議会事業（負担金）】 青森県スポーツ推進員協議会へ参加し、県内スポーツ推進委員間における連携、意見交換を通じたスポーツ推進員の資質向上を図りました。					
優秀な成績を収めた選手及び指導者に対する顕彰	これまでの東北大会以上のレベルの大会で優秀な成績を収めた選手、団体を対象とした顕彰に加え、全国大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手の指導者を対象とした新たな顕彰制度などを通じて、競技意欲や指導意欲の更なる向上を図ります。	【スポーツ賞表彰事業】 スポーツ部門における大会等において優秀な成績を収めた個人又は団体及び指導者を表彰しました。 ①スポーツ賞：国際規模の大会において優秀な成績を収めた者又はこれに準ずる者 ②スポーツ奨励賞：全国規模の大会において優勝・準優勝又は第3位の成績を収めた者、東北規模の大会において優勝の成績を収めた者 ③スポーツ指導者賞：国際規模の大会において優秀な成績を収めた者又はこれに準ずる者、及び全国大会以上の大会において優勝の成績を収めた者の指導者 ■表彰者数 H25：151名（スポーツ賞10、奨励賞125、スポーツ指導者賞16） H26：119名（スポーツ賞13、奨励賞98、スポーツ指導者賞8）					

